

## 1. 調査目的等

- 義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。
- 学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。

## 2. 学校ごとの指標

- 全国との差を0～3ポイント以内にする。
- 休日の家庭学習「全くしない」を0にする。

## 3. 指標にむけての取組

- 授業力向上のために、一人一回の授業研の実施と指導主事を招聘した全体研修の実施
- 「基礎基本を含む活用力を育成する教材集」の有効活用
- 家庭学習の定着を図る週末課題と自学ノートの徹底と継続的指導
- 定期考査前後の補充学習及びフォローアップの取り組み

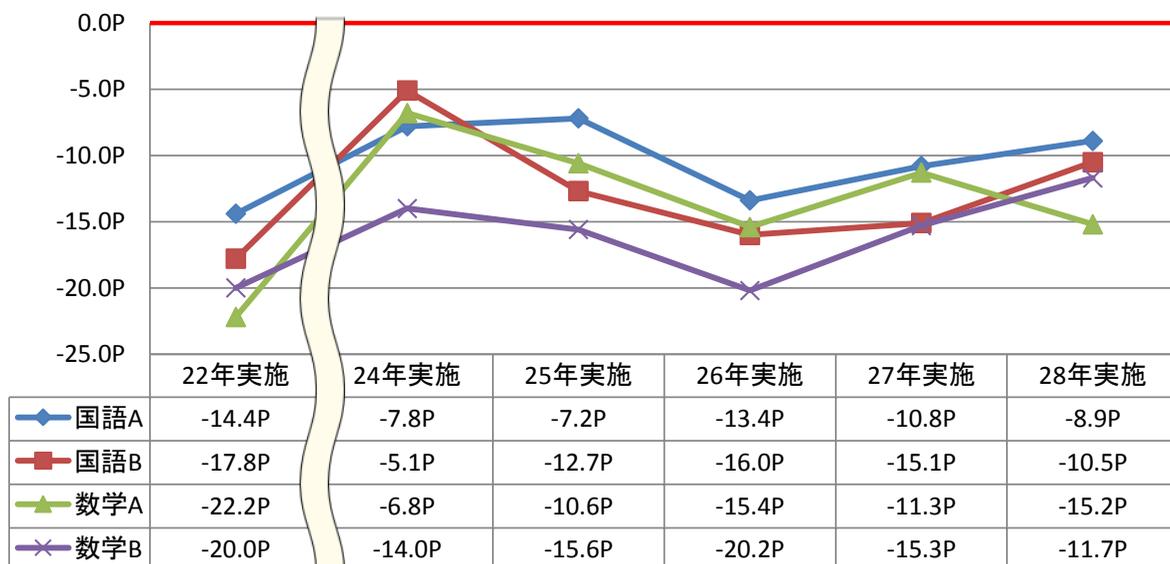
## 4. 調査結果

本年度の結果

(平均正答率に対して)

教科名	国語A	国語B	数学A	数学B
本校(A)	66.7	56.0	47.0	32.4
嘉麻市(B)	69.8	58.8	51.7	35.0
(A) - (B)	-3.1	-2.8	-4.7	-2.6
福岡県(C)	74.8	65.8	60.3	42.4
(A) - (C)	-8.1	-9.8	-13.3	-10.0
全国(D)	75.6	66.5	62.2	44.1
(A) - (D)	-8.9	-10.5	-15.2	-11.7

## 全国平均との差異



## 5. 各学校における分析

- ・国語Aは全国との差が10P以下になっているが、国語B、数学ABともに全国との差が10P以上の差があり、基礎基本の知識の定着や活用力に課題がある。
- ・「基礎基本を含む活用力を育成する教材集」を活用した授業や学習が十分できていない課題がある。
- ・家庭学習の定着では、改善が見られたものの依然として学習を全くしない割合が多い。(週末)

## 6. 各学校における今後の取組

- ・授業では、「基礎基本を含む活用力を育成する教材集」をいつ、どこで使用するのかを年間指導計画や学力向上プランに明記させ、取組の達成度を短期の検証サイクルで確認する。
- ・家庭学習を定着させる取り組みでは、フォローアップシートを繰り返し活用したり、生徒の状況に応じた課題を用意したりするなど、個々の状況に応じて取り組める課題を用意して、定着を図る。

## 7. 嘉麻市教育委員会としての今後の取組

- ◆ 嘉麻市学力向上推進プランに基づく学力向上検証改善委員会を開催し、有機的に機能させる。そのために、以下の事項について支援する。
  - ・課題把握、学力向上策、評価改善の妥当性についての研修を実施する。
  - ・校内学力向上推進委員会への指導助言を行う。
  - ・取組状況の確認及び適時性のある指導を継続する。
- ◆ 嘉麻市学力向上プランに設定した「学力補充」を推進する。そのために、以下の事項について支援する。
  - ・全職員による補充の時間を充実させるための教材の選定や指導方法について指導助言する。
  - ・学習サポーターを配置した「嘉麻市土曜未来塾」を年間40日程度開塾することで、基礎基本の定着の強化と家庭学習の習慣化を図る。
  - ・長期休業中及び放課後等における補充学習、個に応じた学習を支援する。  
嘉麻市学力向上プランに設定した「家庭学習」を推進する。そのために、以下の事項について支援する。
  - ・「家庭学習のすすめ」を活用した指導を徹底させるとともに、「家庭学習のすすめ」を児童・生徒の全家庭に配布し、家庭への啓発を行う。